

2020年度 ばらぐみ 懇談会

2020.5.

新型コロナウイルス感染症の拡大の為、何かとご迷惑がありがとうございます。

ばら組に進級して、自分たちですることが増えてリ
流れも変わりましたが、日々重ねていくうちに自分で
考えて動く姿がありました。何と言っても 自分のコップ
が嬉しくて、「今日はこの袋に入れてきたんやで〜」
「どんなコップたん?」と友だちと会話のやりとりを
楽しんでいるから、順番を待っている子どもたちです。

3歳児として大切にしたいことを、子どもたちの様子も
入れながら、文章ではありますが伝えられたらと思っています。

保育目標

- 基本的な生活習慣を確立していき、見通しを持って生活する
- 「～だから～する」という自制心を育てる
- 友だちと月期わり、イメージを共有して
意欲的に遊ぶクラス集団を作る

* 3歳児として大切にしたいこと *

(生活面)

ある程度の身の回りのことは「ひとりで」できるように作り、
見通しを持って自分の生活を作れるようにしていきます。

朝の流れ

入室し、手洗い場でき手を洗う → ① トイレに行く → ② 半袖に
着替える → ③ コップをリュックから出す (袋はリュックに片付ける) →
④ 名前を呼ばれたらお茶を飲む → (コップを洗う → お集まりの準備)

↓

朝の流れだけでもすることがたくさんです。けれど子どもによって
①～④の順番がバラバラです。「トイレはさきに行きたから行かない」
という子もいます。半袖に着替えてからトイレに行く子もいます。
流れがその通りじゃなくても、自分で考えて動く。最後までやりきる。
ということが素直で、大切にしたいところだと思っています。
1つ1つ声をかけてしまったり、声いって!! と思ってしまう時もありますよね。
目撃期間がかかっても、自分のことは自分でやりきる経験を重ね、
友だちや周りの状況にも気付いていける姿に近づいてほしいですね。

(思い)

「大きくなったからなんでもできる
んやでー!! 元気いんやでー!!」
という声が聞かされてきたり....

給食やおやつの前に、
「木履拭いてあげなな!!」と
率先して手伝ってくれたり....

3歳児は自分ほたんでもできる!! と自信いっぱい時期です。
一丁前に、できる!! と自信たっぷり色々なことに挑戦する姿は
素直ですね。自分ほすごい!! と(人ひとりが)感じられるように
生活・あそびの中で自信をつけてあげたいなと思っています。

でも……

“できること” “できないこと”がわからなかったり、甘んずる気持ちもあつたり、伝えたい思いがあつても言えなくて葛藤したりと、思いが揺れ動く日々期間でもあります。

↳ 子どもたちにもどんな月明わりをしてあげたらいいでしょうか？

揺れ動くありのままの姿を受け止め「～やっぴんやっぴん」と思いを言葉にした月明わりを大切にしたいなと思っています。「お兄ちゃん・お姉ちゃんでしょ」「自分でできるでしょ」ではなく、頑張り続けている姿・過程を見守り、「大丈夫だよ」「一緒にしようか」と声をかけ、次に向かえるようにしてあげたいですね。そして、子どもたちなりに思ったことや感じたこと、保育園での出来事（・園庭で転んで血が出た・おたくりをして目反が汚れた など）も含め、自分の言葉にして伝えられるわもつきたいと思っています。お家でも、子どもたちの話に耳を傾けてあげて下さいね。

(友だちとの月明わり)

（1）しよがたのしい♡

「この木 大きいなあ～」
「登れるかなあ～」「登ってみたい!!」
と不登りをしたつもりになつたり……

外の手洗い場で手を洗うことが嬉しくて、蛇口の向きを覚えて水を出していたり……。1人があつると、同じように真似、こしたり……

日寺には……

保育園の園庭に作られた大きな築山。
一糸着いて登ってみたい、手をつないで降りたりと一糸着いて遊んでいたり……。ちやうど登ろうとした子と降りようとした子。その場で押し月明答。不安定な場所でもあり、どちらも引くに引けず……の姿があり、木々が月明に入ると話をすることもある……。

言葉でのやりとりを増え、友だちとしゃべりながら何を楽しんで友だちとのつながりをもさらに深まっています。
その反面、“自分が!!”の気持ちが大きくて譲れない姿もあり、「へしたかった!!」「でも～ん」と友だちとのぶつかり合いも増えてきました。“自分が!!”と思いを押し通す姿、しっかり伝えられる姿はとても素敵です。その姿、思いを大切に感じさせてあげながら、「どうしたらいいかな?」と木々の代弁もあって相手の思いに気づき、譲れたり我慢できたり自分の気持ちをコントロールできるようにしてほしいなと思います。
友だちと楽しいことと嬉しいこと、ぶつかり合いの経験をもたくさんつなかりを深めていきたいです。